

事前評価個表

整理番号	1
------	---

地域（地区）名	留萌 ^{るもい} 地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	増毛町ほか8市町村
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	北海道、市町村、森林組合等

事業の概要・目的	<p>留萌森林計画区は北海道の北西部に位置する留萌振興局全域と宗谷総合振興局の一部（幌延町）を合わせた地域であり、南北155km・東西67kmと南北に長い地域である。</p> <p>西は日本海に面し、北はサロベツ原野を挟んで宗谷総合振興局、南は増毛山地を挟んで石狩振興局、東は天塩山地を挟んで上川、空知各総合振興局と接し、1市7町1村で構成されている。</p> <p>本計画区の総面積401,991haのうち、森林面積は324,610ha(森林率81%)で、内訳は国有林196,011ha、道有林25,467ha、一般民有林103,132haとなっている。</p> <p>計画区内の民有林面積のうち、トドマツを主体とした人工林の面積は37,041ha(人工林率29%)となっている。</p> <p>また、民有林内の林道延長は239.8kmで、公道等を含む林道密度は7.68m/haとなっており、このほかに林道の支線としての作業道が整備されている。</p> <p>民有林内の人工林37,041haのうち、17,158ha(人工林の46%)が 齢級以下となっており、適正な保育・間伐を必要とする林齢にあるが、木材価格低迷や林業従事者の高齢化、後継者の不在などから、手入れが遅れている森林が多く見られる。</p> <p>また、民有林での間伐等実施林分における搬出率(面積⁺-ス)が30%前後と低位(全道平均45%前後)で推移していることもあり、留萌地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を行い、併せて搬出間伐を推進することで林業の再生を図りながら公益的機能を確保する必要がある。</p> <p>なお、森林施策及び路網整備については、コスト縮減の取組を実施することとしており、地元関係者の意欲も高い。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：17,397ha 人工造林、樹下植栽等、下刈、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：3,401,530千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 5.61 (総便益(B) = 37,646,370千円、総費用(C) = 6,704,840千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくり等によって水源かん養、国土保全等の機能の確保に加え、将来の優良材の安定的な生産の上で有効である。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備と路網整備が適切に計画されている。</p> <p>また、効率性、有効性も十分に認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

整理番号

1

便 益 集 計 表

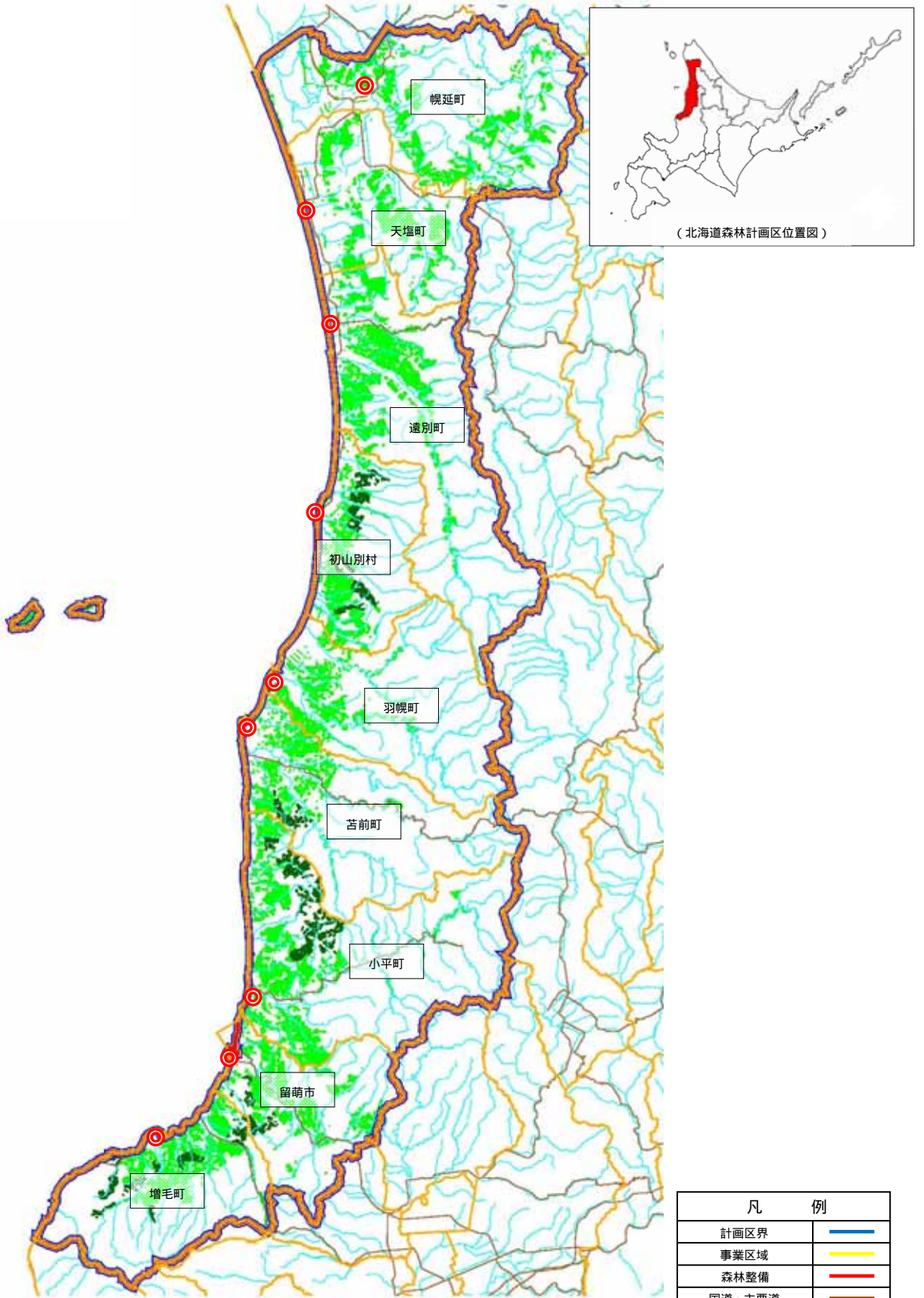
(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 留萌

北海道
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	7,717,344	
	流域貯水便益	3,814,630	
	水質浄化便益	6,512,319	
山地保全便益	土砂流出防止便益	15,510,810	
環境保全便益	炭素固定便益	2,146,849	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	1,944,418	
総 便 益 (B)		37,646,370	
総 費 用 (C)		6,704,840	
費用便益比	$B \div C = \frac{37,646,370}{6,704,840} = 5.61$		

森林環境保全整備事業 留萌地域（北海道）概要図



凡例	
計画区界	—
事業区域	—
森林整備	—
国道・主要道	—
河川	—
市町村界	—
市町村役場所在地	◎
一般民有林（人工林）	■
道有林（人工林）	■